

I 第3期実行計画の重点施策 平成26年度の取組について

1 プランの全体像

現在のプランは、全体として以下に示すように構成されています。

プランの基本的な考え方

プランの目標

- (1) 多様化する価値観の中で、子どもと大人が共に生き、一人ひとりがいきいきと輝く学習社会を創造する
- (2) 地域の学習のネットワーク化を支援し、地域教育力の向上へつなげる

プランにおける施策の方向性

- (1) 各学校や地域の自主性・自律性を促進する
- (2) 市民との協働、職員の専門性の向上、専門家の参画を推進する
- (3) 客観的な現状把握に基づく、効果的で効率的な教育行政を推進する

プランの基本的な考え方を重視した施策展開

施策体系

- 1 幼児・学校教育
- 2 家庭・地域における教育
- 3 社会教育・文化・スポーツ
- 4 教育行政

特に重視する事業を抽出

平成23年度～平成26年度の重点施策

- 1 共に生き、共に育つ環境を創り、心を育む
- 2 地域の中の学校を創る
- 3 学校の教育力を高め、確かな学力を育成する
- 4 「まち」の強みを活かして川崎に育つ子どもに将来の夢を育む
- 5 安全・安心で快適な教育環境を創る
- 6 共に学び、楽しみ、活動する生涯学習社会を創る

【現状・課題】

1. 「依然として深刻な、いじめ・不登校等にどのように対応するか」
「多様化・増加する特別な教育的支援を必要とする児童生徒にどのように対応するか」
2. 「学校と保護者・地域住民との連携をどのように強化するか」
3. 「学校における教育力をどのように高めるか」
4. 「「研究開発都市」「スポーツのまち」「音楽のまち」など川崎の地理的・歴史的・文化的特長をどのように教育に活かしていくか」
5. 「学校施設の老朽化が進む中で、安全・安心で快適な教育環境の整備をどのように進めていくか」
「住宅開発に伴う子育て世代の流入による、児童生徒の増加にどのように対応するか」
6. 「「個性豊かで活力に満ちた地域社会」に寄与する生涯学習社会をどのように創造していくか」

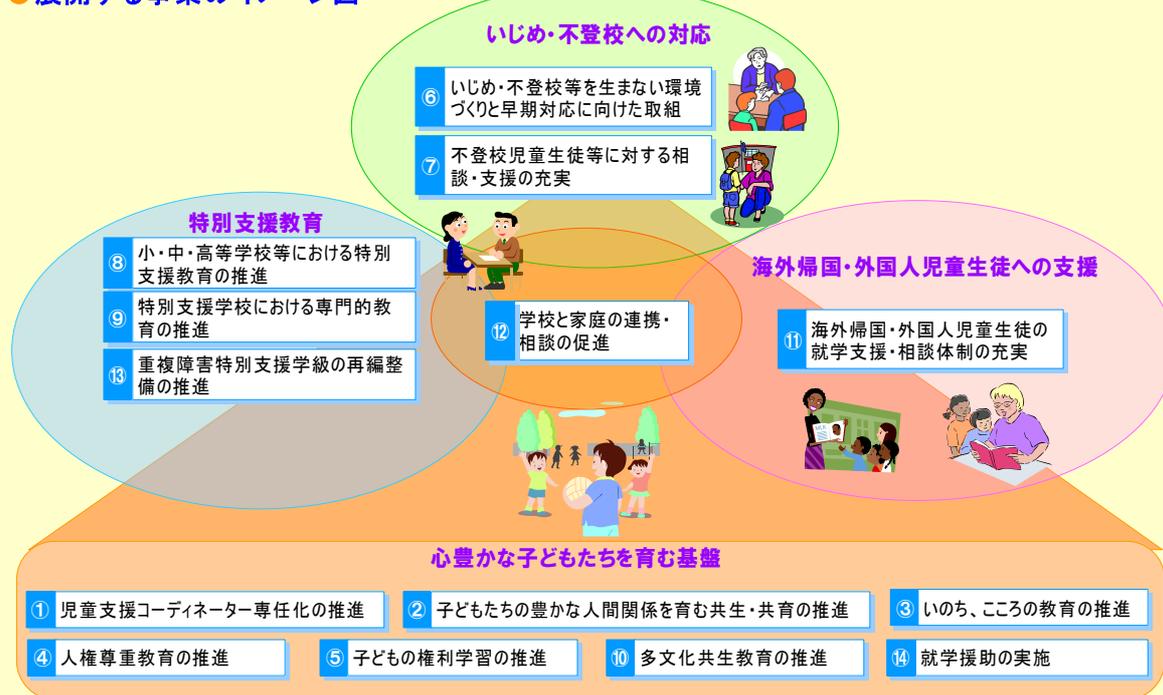
2 重点施策 平成26年度の取組

重点施策1:共に生き、共に育つ環境を創り、心を育む

●目的

生命の尊さや価値を知り、お互いの存在を尊重できる、心豊かな子どもたちを育てることに取り組めます。

●展開する事業のイメージ図



●展開する事業の主な取組

◆児童支援コーディネーターの専任化

…小学校の全ての児童を対象に、いじめ、暴力行為、不登校をはじめ一人ひとりの教育的ニーズに迅速かつ、的確な対応を図る児童支援活動の中心的役割を担う児童支援コーディネーターの専任化を進め、学校全体で組織的な支援を行うための体制作りを推進します。

◆「かわさき共生＊共育プログラム」の実践

…学校におけるいじめ・不登校問題を未然に防止するため、子どもたちの人間関係づくりをサポートする「かわさき共生＊共育プログラム」をすべての学校で実践します。

◆特別支援教育の推進

…通常の学級に在籍する特別な教育的ニーズのある児童生徒をサポートする特別支援教育サポーターの配置を拡充するとともに、特別支援学校高等部生徒数の増加への対応や企業就労への取組を推進するため、中央支援学校(旧養護学校)高等部分教室の拡充に向けた検討を進めます。

◆就学援助の実施

…経済的困難を抱えている世帯への就学援助について、新たに中学生の部活動に要する経費を支給項目に追加します。

【スケジュール】

事業名	これまでの取組と現状	H26
①児童支援コーディネーター専任化の推進	○児童支援コーディネーターの専任化（小学校35校）	○児童支援コーディネーターの専任化（小学校44校）
②子どもたちの豊かな人間関係を育む共生・共育の推進	○「かわさき共生＊共育プログラム」実践の継続、指導資料等の配布など、子どもたちの豊かな人間関係づくりに向けた取組の充実 ○「インターネット問題相談窓口」による対応 ○いじめ・不登校の未然防止に向けた取組の推進	○「かわさき共生＊共育プログラム」によるソーシャルスキルの向上、人間関係の改善など、子どもたちの豊かな人間関係づくりに向けた取組の充実 ○「インターネット問題相談窓口」による対応 ○効果測定等を活用した、いじめ、不登校の未然防止に向けた取組の推進
③いのち、こころの教育の推進	○道徳教育の充実、体験活動（自然、社会、文化芸術等）やいのちの大切さに触れる学習活動の実施	○学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実 ○豊かな心を育むことをめざした自然、社会、文化芸術等体験活動の充実
④人権尊重教育の推進	○人権・同和教育、外国につながる子どもたちへの教育に関する研修・啓発等の実施 ○「かわさきKタイム」の活用など人権に係る参加・体験型学習の実施	○人権・同和教育、外国につながる子どもたちへの教育に関する研修・啓発等の実施 ○人権に係る参加・体験型学習の研修・啓発等の実施
⑤子どもの権利学習の推進	○「子どもの権利学習資料」の充実に向けた検討や、検討を踏まえた資料作成の実施・配布 ○子どもの権利学習派遣事業の実施	○「子どもの権利学習資料」の充実に向けた検討や、検討を踏まえた資料作成の実施・配布 ○子どもの権利学習派遣事業の実施
⑥いじめ・不登校等を生まない環境づくりと早期対応に向けた取組	○スクールソーシャルワーカーの各区1名配置・相談支援の強化 ○スクールカウンセラーと学校巡回カウンセラーの配置 ○フレンドシップかわさき事業の展開 ○川崎市いじめ防止基本方針策定に向けた検討	○スクールソーシャルワーカーの各区1名配置・相談支援の強化の推進 ○スクールカウンセラーと学校巡回カウンセラーの配置 ○川崎市いじめ防止基本方針策定

事業名	これまでの取組と現状	H26
⑦不登校児童生徒等に対する相談・支援の充実	○適応指導教室の運営	○適応指導教室の運営を通じた不登校児童生徒への支援の充実
⑧小・中・高等学校等における特別支援教育の推進	○特別支援教育サポーターの配置（110人分） ○特別支援学校や支援級の「サポートノート」の普及 ○通常の学級における特別な教育的ニーズのある児童生徒に対し「サポートノート簡易版」（個別の教育支援計画）の普及の推進 ○効果的な支援及び研修体制の再構築の推進	○特別支援教育サポーターの配置拡充（120人分） ○特別支援学校や支援級の「サポートノート」の普及 ○通常の学級における特別な教育的ニーズのある児童生徒に対し「サポートノート簡易版」（個別の教育支援計画）の普及の継続 ○効果的な支援及び研修体制の再構築の継続 ・特別支援学校等による地域支援の充実 ・学校の要請による研修やケース会等の学校支援の充実 ○長期入院、入所児童・生徒の学習支援のあり方検討
⑨特別支援学校における専門的教育の推進 <div data-bbox="159 1568 478 1702" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> H26.4 から、市立養護学校は中央支援学校に、田島養護学校は田島支援学校に名称変更します。 </div>	○聾学校の専門性向上のための施設改修・備品整備完了 ○養護学校分教室の開設に伴う職業教育を中心とした教育課程の設置と施設改修・備品整備完了 ○聾学校と養護学校分教室のあり方に関する検討実施	○社会的自立に向けた職業教育と就労支援の充実 ○中央支援学校高等部分教室の拡充に向けた検討 ○田島支援学校における医療的ケア体制の充実（本校・分校）
⑩多文化共生教育の推進	○民族文化講師ふれあい事業の実施 ○民族文化講師ふれあい事業多文化交流会の実施	○民族文化講師ふれあい事業の実施 ○各学校の事業実施内容の充実に向け民族文化講師ふれあい事業説明会・多文化交流会の内容を充実

事業名	これまでの取組と現状	H26
⑪海外帰国・外国人児童生徒の就学支援・相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○日本語指導等協力者派遣事業の実施 ○総合教育センターを中心に区教育担当、各学校と連携した相談・就学体制づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本語指導等協力者の指導力向上にむけた研修の充実 ○中学3年生を対象とした学習支援の充実 ○相談・就学体制づくりのための海外帰国・外国人児童生徒教育連絡協議会の設置
⑫学校と家庭の連携・相談の促進（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールソーシャルワーカーの活用、区役所の保健福祉分野との連携強化による児童生徒の問題解決に向けたきめ細やかな支援の実施 ○電話、来所相談における相談員の研修などによる教育相談機能の充実 ○学校や関係機関との連絡会議による相互の連携の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールソーシャルワーカーの活用、区役所の保健福祉分野との連携強化による児童生徒の問題解決に向けたきめ細やかな支援の実施 ○電話、来所相談における相談員の研修などによる教育相談事業の充実及び相談・支援機関との連携の推進
⑬重複障害特別支援学級の再編整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○大戸小及び稲田小の重複障害特別支援学級の養護学校分教室への移行に伴う教育課程の検討実施と施設整備の完了 ○さくら小の重複障害特別支援学級における交流及び共同学習の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ○中央支援学校小学部分教室における障害特性に応じた専門的な教育と交流籍等による小学校との交流及び共同学習の推進 ○さくら小の重複障害特別支援学級の今後のあり方の検討
⑭就学援助の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな支給項目の検討実施 ○申請から認定にかかる作業について保護者や学校の負担が軽減できるよう検討実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生の部活動にかかる経費を新たに支給 ○教育委員会が課税台帳において所得を確認することで、世帯による所得証明書類の添付を省き、保護者・学校の負担を軽減

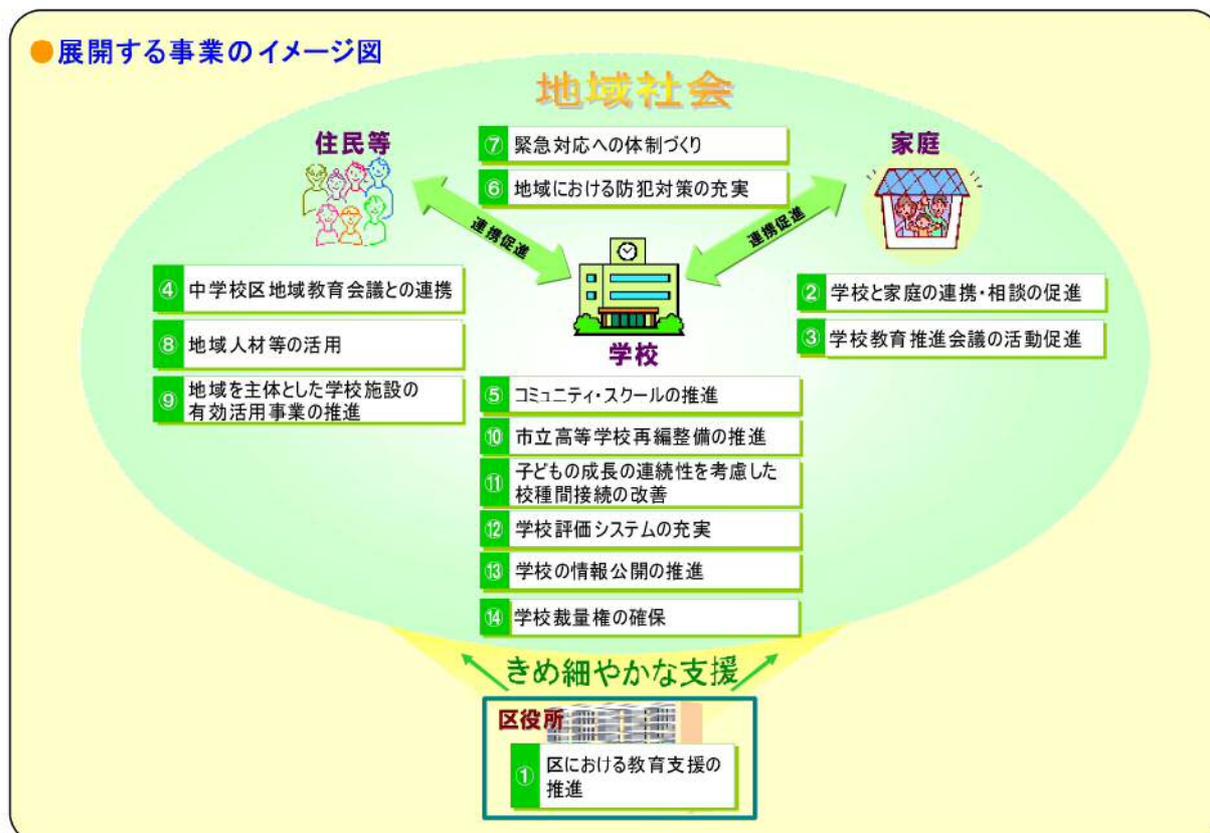
重点施策2：地域の中の学校を創る

●目的

地域の中の学校づくりをめざして、地域との連携を進めるとともに、学校の抱える問題に対し、きめ細やかに対応する仕組みづくりに取り組みます。

学校がそれぞれの特性を活かし、地域に開かれた魅力ある学校づくりに取り組みます。

●展開する事業のイメージ図



●展開する事業の主な取組

◆中高一貫教育の推進

……本市として初の中高一貫教育校として平成26年4月に川崎高校附属中学校が開校します。中高一貫教育では、6年間というゆとりある安定的な学習環境の中で、川崎のもつ特長と「まち」の強みを活かした教育課程編成を行い、自らの能力と個性を伸ばす高い志を育成するとともに、豊かな人間性や社会性を育みます。

◆区における教育支援の推進

……各区に配置した区・教育担当を中心に、区役所と連携しながら、学校運営に対する支援、地域との連携による安全・安心な環境づくり、教育相談への的確な対応など、学校と地域との連携強化や学校へのきめ細やかな支援を推進します。また、学校の取組を自主的・自律的に改善するための仕組みとして学校評価を推進していきます。

◆地域における防犯対策の充実

……地域における防犯への取組として、PTAや地域等との連携により、登下校時の安全指導や地域巡回、危険箇所の点検などを行います。また、併せて児童生徒等への防犯意識の啓発について、さまざまな機会を通じて実施していきます。
(スクールガードリーダーH25年度18人⇒H26年度20人)

【スケジュール】

事業名	これまでの取組と現状	H26
①区における教育支援の推進	<p>○区における教育支援の推進</p> <p>①学校運営全般に対する支援</p> <p>②学校間及び学校と地域の連携強化</p> <p>③地域諸団体・機関との連携強化による子ども支援の推進</p> <p>④学校施設の有効活用の推進</p> <p>○スクールソーシャルワーカーの各区1名配置</p> <p>○「区・学校支援センター」による取組推進</p>	<p>○区における教育支援の推進</p> <p>①学校運営全般に対する支援</p> <p>②学校間及び学校と地域の連携強化</p> <p>③地域諸団体・機関との連携強化による子ども支援の推進</p> <p>④学校施設の有効活用の推進</p> <p>○スクールソーシャルワーカーの各区1名配置</p> <p>○「区・学校支援センター」による取組推進</p>
②学校と家庭の連携・相談の促進	<p>○スクールソーシャルワーカーの活用、区役所の保健福祉分野との連携強化による児童生徒の問題解決に向けたきめ細やかな支援の実施</p> <p>○電話、来所相談における相談員の研修などによる教育相談機能の充実</p> <p>○学校や関係機関との連絡会議による相互の連携の推進</p>	<p>○スクールソーシャルワーカーの活用、区役所の保健福祉分野との連携強化による児童生徒の問題解決に向けたきめ細やかな支援の実施</p> <p>○電話、来所相談における相談員の研修などによる教育相談事業の充実及び相談・支援機関との連携の推進</p>
③学校教育推進会議の活動促進	<p>○学校教育推進会議の全校実施</p>	<p>○学校教育推進会議の活動促進</p>
④中学校区地域教育会議との連携	<p>○中学校区地域教育会議と連携した、地域人材を活用した教育活動の実施</p>	<p>○中学校区地域教育会議と連携した、地域人材を活用した教育活動の実施</p>
⑤コミュニティ・スクールの推進	<p>○コミュニティ・スクールの運営(8校)</p> <p>○取組成果の活用と他の学校への周知推進</p>	<p>○コミュニティ・スクールの運営(8校)</p> <p>○取組成果の活用と他の学校への周知推進</p>
⑥地域における防犯対策の充実	<p>○スクールガード・リーダーの配置(18人)</p> <p>○地域交通安全員(103箇所)の配置</p> <p>○通学路安全対策会議での議論を踏まえた危険箇所の改善</p>	<p>○スクールガード・リーダーの配置拡充(新規2人 計20人)</p> <p>○地域交通安全員の配置箇所の状況調査、検討による適正配置の推進</p> <p>○通学路安全対策会議での議論を踏まえた危険箇所の改善</p>

事業名	これまでの取組と現状	H26
⑦緊急対応への体制づくり (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ○心の緊急支援チームの運用 ○AEDの維持管理 ○校外活動等に携行する貸出用AEDの配備 	<ul style="list-style-type: none"> ○心の緊急支援チームの運用 ○AEDの維持管理 ○校外活動等に携行する貸出用AEDの配備
⑧地域人材等の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育ボランティアコーディネーターを配置し、学校の教育活動を支援 ○学校支援センターにおける地域人材の発掘と学校へのコーディネート 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育ボランティアコーディネーターの配置・活動の充実 ○学校支援センターにおける地域人材の発掘と学校へのコーディネート
⑨地域を主体とした学校施設の有効活用事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○土日、夜間などの地域を主体とした学校施設有効活用事業の推進 ○学校施設有効活用事業の推進に向けた学校施設の整備 ○学校体育館の受益者負担の検討、導入 	<ul style="list-style-type: none"> ○土日、夜間などの地域を主体とした学校施設有効活用事業の推進 ○学校施設有効活用事業の推進に向けた活用モデル事業の推進 ○学校体育館の受益者負担の適正な運用
⑩市立高等学校再編整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○中高一貫教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム開発及びICT環境整備の検討 ・附属中学校の入学者の募集及び決定に向けた取組 ○市立高等学校再編整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・川崎高校及び附属中学校等新築工事推進 ・川崎高校を中高一貫教育校及び二部制定時制課程を有する学校へ再編 	<ul style="list-style-type: none"> ○中高一貫教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・教育理念、カリキュラムに基づく中高一貫教育の実施 ・わかりやすい授業に向けたICTの活用 ○市立高等学校再編整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・川崎高校及び附属中学校等新築工事完了、屋外附帯工事着手 ・定時制課程再編に向けての教育環境整備等の推進
⑪子どもの成長の連続性を考慮した校種間接続の改善	<ul style="list-style-type: none"> ○全中学校区に設置した「連携教育推進協議会」を中心とし、地域の特色や学校の実態に即した小中連携教育の推進 ○カリキュラム開発研究校における小中連携教育の研究(7中学校区) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全中学校区に設置した「連携教育推進協議会」を中心とし、地域の特色や学校の実態に即した小中連携教育の推進 ○カリキュラム開発研究校における小中連携教育の研究(7中学校区)

事業名	これまでの取組と現状	H26
⑫学校評価システムの充実	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動や学校運営の継続的・発展的な改善への取組推進 ○学校関係者評価を活用した保護者・地域住民との連携協力による学校改善への取組推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動や学校運営の継続的・発展的な改善への取組推進 ○学校関係者評価を活用した保護者・地域住民との連携協力による学校改善への取組推進
⑬学校の情報公開の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○学校ホームページの内容充実、更新促進（89校） ○学校経営計画や評価の内容充実、公開校数の拡大（89校） 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校ホームページの内容充実、更新促進 ○学校経営計画や評価の内容充実、公開校数の拡大
⑭学校裁量権の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○教員公募制の実施 ○学校裁量による予算配当の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○教員公募制の推進 ○学校裁量による予算配当の推進

重点施策3:学校の教育力を高め、確かな学力を育成する

● 目的

教職員が自らの力を伸ばして学校の教育力を高めることなどにより、子どもたちが社会で自立して生きていく力を身に付けられるよう取り組みます。

● 展開する事業のイメージ図



● 展開する事業の主な取組

◆ キャリア在り方生き方教育の推進

……子どもたちの社会的自立を促す視点から教育の在り方を幅広く見直し、自己の生き方と関連付けながら成長していくことを支援していくため、マスタープランの作成・配布や、培いたい資質、能力、態度を具現化した「キャリア在り方生き方ノート」の素案を作り、小学校段階からのキャリア在り方生き方教育の推進に向けた取組を進めます。

◆ 学校給食等の充実

……安全・安心で温かい中学校完全給食の平成28年度実施のため、実施方針及び施設・設備の改修計画を策定します。

◆ 習熟の程度に応じた指導の推進

……すべての子どもが授業を理解できることをめざし、学習内容や児童生徒の実態に応じて少人数指導やチーム・ティーチングなどを実施するとともに、習熟の程度に応じたきめ細やかな指導の充実に向けた研究を推進します。

◆ 県費教職員の給与負担等の事務・権限の移譲に向けた取組の推進

……人事権者と給与負担者が異なるねじれ状態を解消し、より一層、学校の実情に即した教職員の配置を推進していくため、移譲後の学校教育・学校運営体制の在り方の検討や、人事・服務、給与・勤務時間等の制度等について統合の方針の決定など、円滑な移管に向けた準備を進めます。

【スケジュール】

事業名	これまでの取組と現状	H26
①キャリア在り方生き方教育の推進	○キャリア在り方生き方教育の推進に向けた検討	○小学校段階からのキャリア在り方生き方教育の推進に向けたマスタープランの作成・配布 ○キャリア在り方生き方ノートの素案作り
②自ら学ぶ意欲、考える態度の育成	○家庭との連携を通して学習習慣の確立を図りながら、学習に取り組む意欲を育む授業を実施	○学習状況調査等の結果を活かした授業改善 ○家庭との連携等による学習習慣及び学習意欲の確立
③言語活動の充実による授業改善	○学習指導要領の趣旨を踏まえた思考力・判断力・表現力等を育む授業の実施	○学習状況調査等の結果を活かした授業改善 ○学習指導要領の趣旨を踏まえた言語活動の充実による思考力・判断力・表現力等を育む授業改善
④コミュニケーション能力の向上	○言語による子ども同士の交流を確かなものにし、好ましい人間関係づくりが図られるよう各教科等におけるコミュニケーションを重視した授業改善及び、多様な人たちとのかかわる体験活動や協力して問題を解決する学習の実施	○言語による子ども同士の交流を確かなものにし、好ましい人間関係づくりが図られるよう各教科等におけるコミュニケーションを重視した授業改善及び、多様な人たちとのかかわる体験活動や協力して問題を解決する学習の実施
⑤「確かな学力」にかかる学習状況調査の実施・分析・活用	○学習状況調査の実施	○学習状況調査の結果を活かした教育課程・指導方法等の改善
⑥読み・書き・計算等、基礎・基本の徹底	○児童生徒の学習状況に応じた基礎・基本的な知識の定着を図る授業の実施	○学習状況調査等の結果を活かした授業改善 ○習熟の程度に応じたきめ細やかな指導の充実に向けた研究の推進

事業名	これまでの取組と現状	H26
⑦小学校等での外国語活動の推進	<p>○外国語指導助手（ALT）の配置</p> <p>①小学校 計35人</p> <p>②中学校 計30人</p> <p>③高校 計5人</p> <p>○小学校外国語活動中核教員研修の実施</p> <p>○外国語活動教材「Hi, friends!」の活用による指導の実施</p>	<p>○外国語指導助手（ALT）の配置</p> <p>①小学校 計35人</p> <p>②中学校 新規1人 計31人</p> <p>③高校 計5人</p> <p>○ALT配置による学習効果検証</p> <p>○小学校外国語活動中核教員研修の充実</p> <p>○外国語活動教材「Hi, friends!」の活用による指導の充実</p>
⑧道徳・特別活動・総合的な学習の時間の内容の充実	<p>○学習指導要領の趣旨を踏まえた道徳・特別活動・総合的な学習の実施</p>	<p>○学習指導要領の趣旨を踏まえ、年間計画に基づいた道徳・特別活動・総合的な学習の実施</p>
⑨学校給食等の充実	<p>○学校給食調理業務委託の実施</p> <p>○ミルク給食及び中学校ランチサービスの実施</p> <p>○高等学校定時制夜間給食の見直し検討</p>	<p>○学校給食調理業務委託の実施</p> <p>○ミルク給食及び中学校ランチサービスの実施</p> <p>○中学校完全給食に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度実施に向けた実施方針の策定 ・平成28年度実施に向けた施設・設備の改修計画の策定 <p>○高等学校定時制夜間給食のメニューの改善、給食費の改定</p>
⑩食育の推進	<p>○小学校、中学校で活用するための「学校における食に関する指導プラン」の策定</p> <p>○食に関する指導に係る全体計画、年間指導計画に基づく食育の推進</p> <p>○学校・家庭・地域との連携・協力体制の充実</p>	<p>○小学校、中学校での「学校における食に関する指導プラン」の活用</p> <p>○食に関する指導に係る全体計画、年間指導計画に基づく食育の推進</p> <p>○学校・家庭・地域との連携・協力体制の充実</p>
⑪少人数学級等の推進	<p>○小学校1・2年生等の35人以下学級の実施</p>	<p>○国の動向を注視しながら、各学校の実情に応じて、よりきめ細やかな指導ができる体制を推進</p>
⑫少人数指導などきめ細やかな学習指導の推進	<p>○課題別学習や習熟度別学習などの少人数指導の実施</p>	<p>○興味や関心に応じた学習や習熟の程度に応じた学習などの少人数指導の実施</p> <p>○習熟の程度に応じたきめ細やかな指導の充実に向けた研究の推進</p>

事業名	これまでの取組と現状	H26
⑬教育活動サポーター事業の推進	○教育活動サポーターの配置	○教育活動サポーターを配置し、児童生徒へのきめ細やかな学習支援を実施
⑭教職員に対する専門家等の支援	○学校法律相談の実施	○学校法律相談の実施
⑮ライフステージに応じた教職員研修プログラムの実施	○新しいライフステージに応じた教職員研修プログラム全面实施	○初任者から3年目教員研修における若手教員育成 ○2校目異動者から15年経験者教員研修におけるミドルリーダー育成
⑯初任者等研修の充実	○新しいライフステージに応じた教職員研修プログラムにおける教員の土台づくりを大切にした初任者研修の実施	○授業力を育てる宿泊研修や班別研修の充実 ○初任者研修等指導員による学校巡回指導によるOJT※ ¹ の実施
⑰教職員の採用方法の改善	○大学等における採用説明会の開催、地方試験（東北・九州）の実施	○大学等における採用説明会の開催、地方試験（東北・九州）の実施
⑱管理職登用制度の見直し	○チャレンジ教頭選考による登用	○チャレンジ教頭選考による登用
⑲区における教育支援の推進（再掲）	○区における教育支援の推進 ①学校運営全般に対する支援 ②学校間及び学校と地域の連携強化 ③地域諸団体・機関との連携強化による子ども支援の推進 ④学校施設の有効活用の推進 ○スクールソーシャルワーカーの各区1名配置 ○「区・学校支援センター」による取組推進	○区における教育支援の推進 ①学校運営全般に対する支援 ②学校間及び学校と地域の連携強化 ③地域諸団体・機関との連携強化による子ども支援の推進 ④学校施設の有効活用の推進 ○スクールソーシャルワーカーの各区1名配置 ○「区・学校支援センター」による取組推進
⑳教員の授業力向上に向けた取組の推進	○「授業力Ⅰ、Ⅱ」等ガイドラインに基づいた校内研修・校内授業研究による授業改善の実施 ○研究協力校による研究成果の普及 ○校内授業研究の活性化	○「授業力Ⅰ、Ⅱ」等ガイドラインに基づいた校内研修・校内授業研究の充実 ○指導主事がチームで支援する拡大要請訪問

※1 On the Job Training=業務を通じた訓練

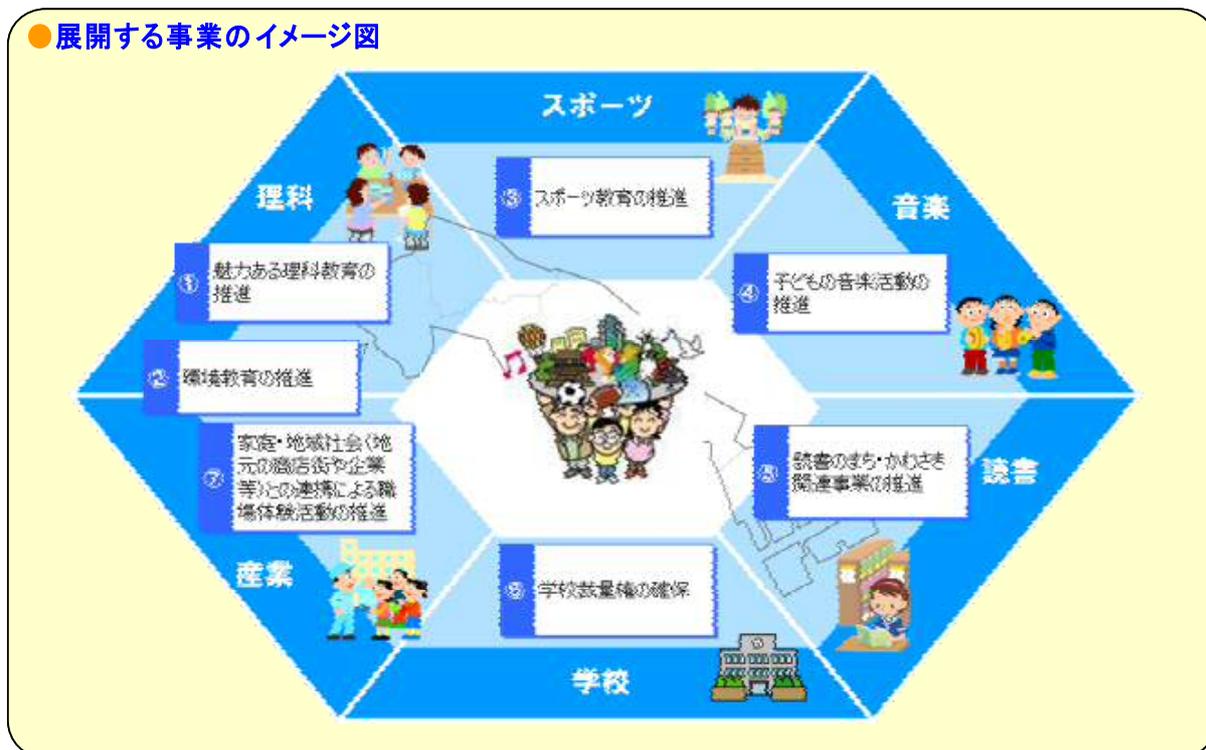
事業名	これまでの取組と現状	H26
①県費教職員の給与負担等の事務・権限の移譲に向けた取組の推進	○政令市の義務教育諸学校に勤務する教職員について、人事権者と給与負担者が異なる「ねじれ」の状態を解消するため、平成29年度を目途に学級編制基準や給与負担等の事務・権限を関係道府県から政令市へ移譲することで合意	○移譲後の学校教育・学校運営体制の在り方の検討や、人事・服務、給与・勤務時間等の各制度、福利厚生、人事給与システム等について統合の方針の決定など、円滑な移管に向けて準備を推進
②スポーツ教育の推進 (再掲)	○小学校体育授業への指導補助者の派遣 ○中学校運動部活動への外部指導者の派遣 ○中学校武道授業への指導補助者の派遣	○小学校体育授業への指導補助者の派遣 ○中学校運動部活動への外部指導者の派遣 ○中学校武道授業への指導補助者の派遣 ○児童生徒の体力向上の取組の推進

重点施策4:「まち」の強みを活かして川崎に育つ子どもに将来の夢を育む

●目的

本市の地理的、歴史的、文化的特長など「まち」の強みを活かした教育を推進し、子どもたちに将来の夢を育みます。

●展開する事業のイメージ図



●展開する事業の主な取組

◆魅力ある理科教育の推進

……「研究開発都市」である本市の強みを活かして、企業や研究機関と連携して、技術者や研究者等による出前授業や、工場・研究施設の見学、「川崎サイエンスワールド(本市の先端科学技術に関する副読本)」の活用等、魅力ある理科教育を推進します。

◆スポーツ教育の推進

……「スポーツのまち」である本市の強みを活かして、体育系大学や地域のスポーツ人材と連携して、子どもたちが運動の楽しさを味わうことの出来る授業づくりや運動をする動機付けを行い、健康づくりや基礎体力づくりを進めます。

◆子どもの音楽活動の推進

……「音楽のまち」である本市の強みを活かして、子どもの音楽の祭典やミュージア川崎シンフォニーホールでのオーケストラ鑑賞に加えて、音楽系大学との連携による「ジュニア音楽リーダー」の育成を図るなど、豊かな感性と生涯を通じて音楽を愛好する心情を育てます。

⇒ このような取組を通して、子どもたちが将来の夢や目標を持って、学習や活動に取り組み、本市に対する誇りと愛着を持てるようにするとともに、将来の望ましい市民形成を図る教育を進めます。

【スケジュール】

事業名	これまでの取組と現状	H26
①魅力ある理科教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○技術者・研究者等による出前授業や工場・研究施設見学、先端科学技術副読本の活用などによる理科教育の実施 ○全校の小学校5・6年生の理科授業に理科支援員を配置 ○横浜国立大学と連携した中核理科教員（CST）養成プログラムの実施 ○CST プログラムを修了した教員による理科研修の実施 ○大学院副専攻C S T 修了者の教員採用募集 	<ul style="list-style-type: none"> ○技術者・研究者等による出前授業や工場・研究施設見学、先端科学技術副読本の活用などによる理科教育の充実 ○全校の小学校5・6年生の理科授業に理科支援員を配置 ○横浜国立大学と連携した中核理科教員（CST）養成プログラムの実施 ○CST プログラムを修了した教員による理科研修の充実 ○大学院副専攻C S T 修了者の教員採用募集
②環境教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○教育課程への環境教育の位置づけの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ONPO、大学と連携した環境教育の充実 ○環境に配慮した科学技術や川崎の自然から学ぶ環境教育の充実 ○環境の保全に取り組んでいる市内企業の出前授業や施設見学等による環境教育の充実
③スポーツ教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校体育授業への指導補助者の派遣 ○中学校運動部活動への外部指導者の派遣 ○中学校武道授業への指導補助者の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校体育授業への指導補助者の派遣 ○中学校運動部活動への外部指導者の派遣 ○中学校武道授業への指導補助者の派遣 ○児童生徒の体力向上の取組の推進
④子どもの音楽活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○開かれた子どもの音楽活動、オーケストラ鑑賞、子どもの音楽の祭典を実施 ○市内音楽大学と連携したジュニア音楽リーダーの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○開かれた子どもの音楽活動、オーケストラ鑑賞、子どもの音楽の祭典の充実 ○市内音楽大学と連携したジュニア音楽リーダーの育成

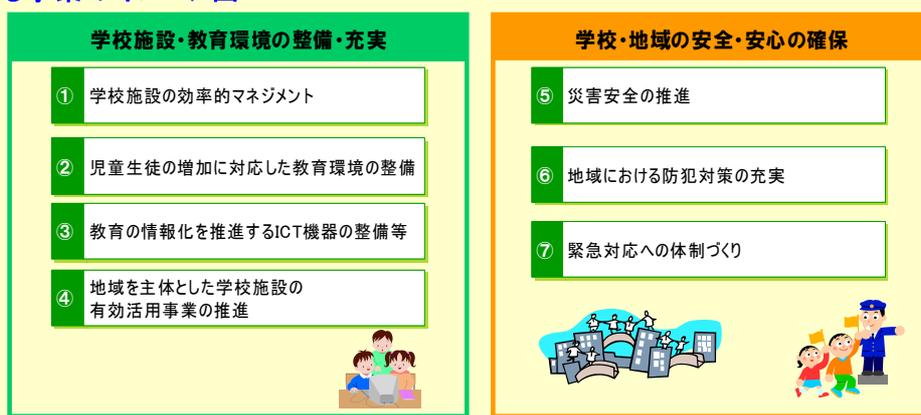
事業名	これまでの取組と現状	H26
⑤読書のまち・かわさき関連事業の推進（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> ○朝読書・読み聞かせ・ブックトークの実施 ○学校図書館コーディネーター各区3名の配置 ○かわさき子ども読書100選の発行 ○公立図書館と大学図書館等との連携拡大 ○学校図書館を活用した地域への図書貸出事業の推進 ○各種イベント等を通じたリユース本の市民への提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝読書・読み聞かせ・ブックトークの継続実施 ○学校図書館コーディネーター各区3名の配置 ○学校図書館の充実に向け、学校図書館コーディネーター及び学校図書館ボランティアのあり方検討 ○かわさき子ども読書100選などを活用した、さらなる学校図書館の充実 ○公立図書館と大学図書館等との連携継続 ○学校図書館を活用した地域への図書貸出事業による市民の読書活動支援の継続 ○各種イベント等を通じたリユース本の市民への提供
⑥学校裁量権の確保（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> ○教員公募制の実施 ○学校裁量による予算配当の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○教員公募制の推進 ○学校裁量による予算配当の推進
⑦家庭・地域社会（地元の商店街や企業等）との連携による職場体験活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○企業・地元商店等における職場体験の実施 ○企業等による出前授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○企業・地元商店等における職場体験の充実 ○企業等による出前授業の推進

重点施策5:安全・安心で快適な教育環境を創る

●目的

安全・安心で快適な教育環境の中で学ぶことのできる、安全性や機能性の高い学校づくりに取り組めます。

●展開する事業のイメージ図



●展開する事業の主な取組

◆学校施設の効率的マネジメント

……計画的な再生整備や予防保全に取り組むとともに、特に緊急性や重要性の高い個別課題となる、教育環境の快適化やバリアフリー化、学校施設の防災機能の強化を推進するために順次、改修等による施設整備を推進します。

- ①学校施設長期保全計画に基づく計画的な保全の実施
- ②既存学校施設の再生整備モデル実施
- ③学校トイレの快適化、エレベータ設置の推進
- ④体育館・格技室の天井等落下防止対策等の非構造部材の耐震化、体育館への灯油式発電機の設置等による非常用電源の確保策などの推進

⇒ これらの取組により、早期かつ効率的に、施設の長寿命化対策、教育環境の質的向上、環境に配慮した施設整備などの実現を目指します。

◆児童生徒の増加に対応した教育環境の整備

……住宅開発に伴い、子育て世代の流入が進み、児童生徒が増加傾向にあります。このような影響による一部学校での教育環境の確保への課題に的確に対応していきます。

- ①新川崎地区・小杉駅周辺地区の小学校新設に向けた取組
- ②子母口小と東橋中の合築整備完了
- ③上丸子小校舎改築完成
- ④久末小校舎増築・体育館改築基本・実施設計完了
- ⑤校舎増築完成・・渡田小、白鳥中、片平小、日吉小
- ⑥校舎増築工事着手・・御幸小、大師中、富士見中
- ⑦校舎増築基本・実施設計着手・・古川小、下沼部小、臨港中

◆防災教育の推進

……東日本大震災の被害や発生時の状況等を踏まえた学校における防災力の強化のため、防災教育研究推進校の指定による実践研究や防災備蓄物資の整備を推進します。

【スケジュール】

事業名	これまでの取組と現状	H26
①学校施設の効率的マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ○学校施設長期保全計画の策定 ○既存学校施設の再生整備モデル事業の2年目工事完了（西丸子小、久末小） ○学校トイレの環境改善の実施（39校、137ヶ所完了） ○既存校のエレベータ設置（15校設置） ○校内LAN整備の完了 ○太陽光発電既設校への蓄電池設置（3校） ○体育館への灯油式発電機設置（7校） ○体育館・格技室の天井等落下防止対策（体育館3校） 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校施設長期保全計画に基づく計画的な保全の実施 ・校舎（8校）・体育館（5校）の再生整備の設計着手等 ○モデル事業の3年目工事（西丸子小、久末小） ○学校のトイレ環境改善の整備の推進（7校、25ヶ所） ○既存校のエレベータ設置の推進（3校） ○太陽光発電既設校への蓄電池設置（3校） ○体育館への灯油式発電機設置（22校） ○体育館・格技室の天井等落下防止対策（体育館1校・格技室17校）

事業名	これまでの取組と現状	H26
②児童生徒の増加に対応した教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○新川崎地区・小杉駅周辺地区の小学校新設に向けた取組 ○子母口小と東橋中の合築整備着手 ○校舎増築工事 <ul style="list-style-type: none"> ・はるひ野小中完成 ○校舎改築工事 <ul style="list-style-type: none"> ・大谷戸小完成 ・上丸子小着手 ○校舎増築・体育館改築工事 <ul style="list-style-type: none"> ・久末小基本・実施設計着手 ○児童生徒の増加地域ごとの対応の検討及び校舎増築工事の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・今井小完成 ・末長小完成 ・東門前小完成 ・下沼部小完成 ・宮前小完成 ・苅宿小完成 ・日吉中完成 ・犬蔵小完成 ・宮前平中完成 ・渡田小基本・実施設計完了 ・白鳥中基本・実施設計完了 ・片平小基本・実施設計完了 ・日吉小基本・実施設計着手 ・御幸小基本・実施設計着手 ・大師中基本・実施設計着手 ・富士見中基本・実施設計着手 	<ul style="list-style-type: none"> ○新川崎地区・小杉駅周辺地区の小学校新設に向けた取組 ○子母口小と東橋中の合築整備完了 ○校舎改築工事 <ul style="list-style-type: none"> ・上丸子小完成 ○校舎増築・体育館改築工事 <ul style="list-style-type: none"> ・久末小基本・実施設計完了 ○児童生徒の増加地域ごとの対応の検討及び校舎増築工事の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・渡田小完成 ・白鳥中完成 ・片平小完成 ・日吉小完成 ・御幸小工事着手 ・大師中工事着手 ・富士見中工事着手 ・古川小基本・実施設計着手 ・下沼部小基本・実施設計着手 ・臨港中基本・実施設計着手
③教育の情報化を推進するICT機器の整備等	<ul style="list-style-type: none"> ○教育の情報化推進計画に基づいた研究、研修の充実及び機器の整備 ○校務支援システムの本稼働に向けた機能のカスタマイズ、研修、支援体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育の情報化推進計画に基づいた研究、研修の充実及び機器の整備推進 ○校務支援システムの本稼働における円滑な運用、運用後のフォローアップ及び公簿関連帳票のカスタマイズ ○情報活用能力に関するカリキュラムの検討

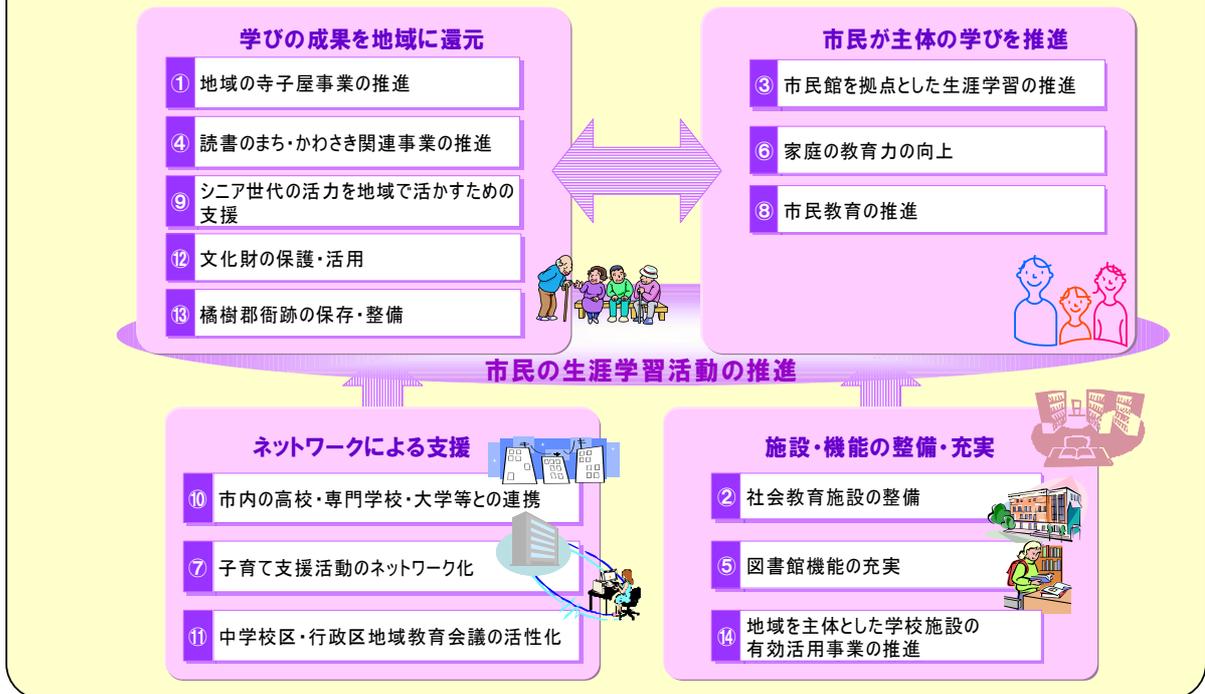
事業名	これまでの取組と現状	H26
④地域を主体とした学校施設の有効活用事業の推進（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> ○土日、夜間などの地域を主体とした学校施設有効活用事業の推進 ○学校施設有効活用事業の推進に向けた学校施設の整備 ○学校体育館の受益者負担の検討、導入 	<ul style="list-style-type: none"> ○土日、夜間などの地域を主体とした学校施設有効活用事業の推進 ○学校施設有効活用事業の推進に向けた活用モデル事業の推進 ○学校体育館の受益者負担の適正な運用
⑤災害安全の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○防災教育研究推進校の指定（59校） ○防災についての専門的知識と実践力の育成（年間5回程度研修会開催） ○防災関係資料の充実（「防災学習テキスト」及び「防災リーフレット」の配布） ○防災備蓄物資の整備（小中学校及び特別支援学校の児童生徒の3割分、帰宅困難になる可能性のある高等学校の生徒分の水、アルファ米、栄養補助食品、氷砂糖、防寒シート及びLEDランタンを配備） 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災教育研究推進校の指定（40校） ○防災についての専門的知識と実践力の育成（年間5回程度研修会開催） ○防災関係資料の充実（「学校安全の手引き」の改訂、「防災学習テキスト」及び「防災リーフレット」の配布） ○防災備蓄物資の整備（附属中学校生徒分の水、アルファ米、栄養補助食品、氷砂糖、防寒シート及びLEDランタンを配備）
⑥地域における防犯対策の充実（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールガード・リーダーの配置（18人） ○地域交通安全員（103箇所）の配置 ○通学路安全対策会議での議論を踏まえた危険箇所の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールガード・リーダーの配置拡充（新規2人 計20人） ○地域交通安全員の配置箇所の状況調査、検討による適正配置の推進 ○通学路安全対策会議での議論を踏まえた危険箇所の改善
⑦緊急対応への体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○心の緊急支援チームの運用 ○AEDの維持管理 ○校外活動等に携行する貸出用AEDの配備 	<ul style="list-style-type: none"> ○心の緊急支援チームの運用 ○AEDの維持管理 ○校外活動等に携行する貸出用AEDの配備

重点施策6:共に学び、楽しみ、活動する生涯学習社会を創る

●目的

学びの成果を活かして地域の教育力を育む、市民主体の生涯学習社会づくりに取り組みます。

●展開する事業のイメージ図



●展開する事業の主な取組

◆地域の寺子屋事業の推進

…地域ぐるみで子どもの教育、学習をサポートし、シニア世代の知識と経験を活かして多世代で学ぶ生涯学習の拠点をつくるため、地域の寺子屋事業を推進します。(モデル実施全市7カ所)

◆市民館を拠点とした生涯学習の推進

…学習機会の提供や、市民の自主的な学習や活動の支援、団体やボランティアの育成、市民のネットワークづくりなどの取組を通して、区における生涯学習の充実を図ります。

◆家庭教育の充実とシニア世代の能力を地域で活かすための支援

…子どもが「生きる力」を育む基礎となる家庭の教育力の向上を図ります。また、シニア世代が自らのキャリアを活かして地域でいきいきと活躍できる取組を進めます。

◆中学校区・行政区地域教育会議の活性化

…地域の教育力の向上を図る市民の自主的な活動組織である地域教育会議の活性化を支援していきます。

◆橋樹郡衙跡の保存・整備

…全国的にも貴重な歴史文化遺産である橋樹郡衙を後世まで継承する遺跡として位置づけ、地域と連携した保存・活用を進めるとともに、国史跡の指定に向けた取組を進めます。

【スケジュール】

事業名	これまでの取組と現状	H26
①地域の寺子屋事業の推進	○地域の寺子屋事業の立ち上げに向けた検討	○小学校7校で放課後や土曜日に学習支援や体験活動等を行う「地域の寺子屋事業」をモデル実施
②社会教育施設の整備	○新中原図書館の整備、開館 ○富士見地区再編整備実施計画に基づく教育文化会館の再整備に向けた関係局区等との協議 ○社会教育施設の長寿命化対策の考え方の整理 ○日本民家園総合防災設備の整備 ○日本民家園古民家の耐震補強	○教育文化会館の再整備に向けた関係局区等との協議 ○かわさき資産マネジメントカルテ（第2期取組期間の実施方針）に基づく社会教育施設長寿命化対策の計画的な推進 ○日本民家園総合防災設備の整備 ○日本民家園古民家の計画的な耐震診断及び設計工事の実施
③市民館を拠点とした生涯学習の推進	○社会状況の変化を捉えた社会教育事業の展開 ○区役所関係機関との連携強化 ○学習情報提供・学習相談の充実	○社会状況の変化を捉えた社会教育事業の展開 ○区役所関係機関との連携強化 ○学習情報提供・学習相談の充実 ○地域における生涯学習のコーディネート役となる人材の養成

事業名	これまでの取組と現状	H26
④読書のまち・かわさき関連事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○朝読書・読み聞かせ・ブックトークの実施 ○学校図書館コーディネーター各区3名の配置 ○かわさき子ども読書100選の発行 ○公立図書館と大学図書館等との連携拡大 ○学校図書館を活用した地域への図書貸出事業の推進 ○各種イベント等を通じたリユース本の市民への提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝読書・読み聞かせ・ブックトークの継続実施 ○学校図書館コーディネーター各区3名の配置 ○学校図書館の充実に向け、学校図書館コーディネーター及び学校図書館ボランティアのあり方検討 ○かわさき子ども読書100選などを活用した、さらなる学校図書館の充実 ○公立図書館と大学図書館等との連携継続 ○学校図書館を活用した地域への図書貸出事業による市民の読書活動支援の継続 ○各種イベント等を通じたリユース本の市民への提供
⑤図書館機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○幅広い資料収集 ○高度なレファレンス機能の充実 ○自動貸出機やBDS^{※2}の設置等図書館のICT化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○幅広い資料収集 ○高度なレファレンス機能の充実 ○ICTを活用した効率的、効果的な図書館運営の推進
⑥家庭の教育力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭の教育力向上に向けた支援事業の実施 ○より身近な参加しやすい学習機会の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭の教育力向上に向けた支援事業の実施 ○より身近な参加しやすい学習機会の充実 ○共働き家庭、より困難を抱えた家庭などへのアプローチのあり方検討
⑦子育て支援活動のネットワーク化	<ul style="list-style-type: none"> ○就学前の子育て期の市民に向けた学習機会の提供や仲間づくりの支援 ○区役所関係機関との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○就学前の子育て期の市民に向けた学習機会の提供や仲間づくりの支援 ○区役所関係機関との連携強化
⑧市民教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア活動や地域参加の意欲喚起・啓発に向けた事業実施 ○区役所関係機関との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア活動や地域参加の意欲喚起・啓発に向けた事業実施 ○区役所関係機関との連携強化

※2 Book Detection System=無断持出防止装置

事業名	これまでの取組と現状	H26
⑨シニア世代の活力を地域で活かすための支援	<ul style="list-style-type: none"> ○社会参加に向けたきっかけづくりとなる事業や、地域活動につながる事業の実施 ○生涯学習財団による、学校支援ボランティアの養成・派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会参加に向けたきっかけづくりとなる事業や、地域活動へ誘導する事業の実施 ○生涯学習財団による、学校支援ボランティアの養成・派遣
⑩市内の高校・専門学校・大学等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○市内の高等教育機関と連携した市民向け生涯学習事業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○市内の高等教育機関と連携した市民向け生涯学習事業の充実
⑪中学校区・行政区地域教育会議の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校区、行政区地域教育会議の連携推進 ○全市交流会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども会議を通じた活動の共有化など、中学校区、行政区地域教育会議の連携推進 ○全市交流会の実施
⑫文化財の保護・活用	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財調査・活用事業の実施 ○文化財保護活用計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財調査・活用事業の実施 ○計画に基づく事業推進 ・(仮称)文化財認定制度の創設等に向けた検討
⑬橘樹郡衙跡の保存・整備	<ul style="list-style-type: none"> ○地域と連携した保存活用の実施 ○国史跡の指定に向けた調査・検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域と連携した保存活用の実施 ○国史跡の指定に向けた取組
⑭地域を主体とした学校施設の有効活用事業の推進(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ○土日、夜間などの地域を主体とした学校施設有効活用事業の推進 ○学校施設有効活用事業の推進に向けた学校施設の整備 ○学校体育館の受益者負担の検討、導入 	<ul style="list-style-type: none"> ○土日、夜間などの地域を主体とした学校施設有効活用事業の推進 ○学校施設有効活用事業の推進に向けた活用モデル事業の推進 ○学校体育館の受益者負担の適正な運用

3 「重点施策」平成26年度の成果指標

成果指標は、「重点施策」の成果を具体的に数値で表したものです。ただし、「重点施策」の成果のすべてを表すものではなく、あくまでもその一部を数値化したものです。実際の「重点施策」の評価は、事業の進捗状況等を総合的に捉えて行います。

重点施策 1 共に生き、共に育つ環境を創り、心を育む					
成果指標	目標／実績	24年度	25年度	26年度	数値の出典
不登校児童生徒の出現率	目標値	0.4%以下 (小5) 4.4%以下 (中2)	0.4%以下 (小5) 4.4%以下 (中2)	0.4%以下 (小5) 4.4%以下 (中2)	学校基本調査
	実績値	0.49% (小5) 3.79% (中2)			
ゆうゆう広場通級者の進路決定時における進学及び就学の決定	目標値	90%以上	90%以上	90%以上	センター事業報告書
	実績値	93.7%			
かわさき共生＊共育プログラム実施による社会性（言語的解決スキル）の上昇	目標値	アンケートにおける平均点 0.2上昇	アンケートにおける平均点 0.2上昇	アンケートにおける平均点 0.2上昇	かわさき共生・共育効果測定アンケート
	実績値	22.44⇒22.70 アンケートにおける平均点 0.26上昇			
かわさき共生＊共育プログラム実施によるポジティブ活躍群の割合 (単年度同一集団で計測)	目標値	45% (小学校) 35% (中学校)	45% (小学校) 35% (中学校)	45% (小学校) 35% (中学校)	かわさき共生・共育効果測定アンケート
	実績値	46.2% (小学校) 39.3% (中学校)			
教研式Q-Uアンケート実施による学級生活満足群の割合 (単年度同一集団で計測)	目標値	40% (小学校) 35% (中学校)	40% (小学校) 35% (中学校)	40% (小学校) 35% (中学校)	教研式Q-Uアンケート
	実績値	51.5% (小学校) 52.0% (中学校)			
重点施策 2 地域の中の学校を創る					
成果指標	目標／実績	24年度	25年度	26年度	数値の出典
学校教育ボランティアコーディネーター配置学校数	目標値	142校	144校	146校	教育委員会調べ
	実績値	137校			
学校施設の利用者数	目標値	241万人	241.5万人	265万人	
	実績値	246.6万人			
教員公募を行う学校数	目標値	41校	41校	41校	
	実績値	25校			
進学及び就職者の比率 (全日制普通科)	目標値	86.1%以上	86.1%以上	94.5%以上	学校基本調査
	実績値	94.5%			

成果指標	目標／実績	24年度	25年度	26年度	数値の出典
進学及び就職者の比率 (全日制専門学科)	目標値	94.7%以上	94.7%以上	94.7%以上	学校基本調査
	実績値	91.8%			
退学する生徒の割合(定時制)	目標値	14.3%以下	14.3%以下	10.7%以下	
	実績値	10.7%			
学校関係者評価の実施校数	目標値	167校	168校	173校	学校評価書
	実績値	171校			
重点施策 3 学校の教育力を高め、確かな学力を育成する					
成果指標	目標／実績	24年度	25年度	26年度	数値の出典
わからないことがあったら自分で調べようとする割合	目標値	49%(小5) 46%(中2)	50%(小5) 47%(中2)	50%(小5) 47%(中2)	学習状況調査
	実績値	45.9%(小5) 44.9%(中2)			
日常生活の中で、自分の思いや考えを積極的に話そうとする割合 (話そうとしている・どちらかといえば話そうとしている)	目標値	71%(小5) 68%(中2)	72%(小5) 69%(中2)	76%(小5) 69%(中2)	
	実績値	71%(小5) 69.5%(中2)			
各教科の理解度 (わかる・どちらかといえばわかる)	目標値	83%(中2国語) 68%(中2数学) 65%(中2英語)	84%(中2国語) 69%(中2数学) 66%(中2英語)	84%(中2国語) 71%(中2数学) 69%(中2英語)	
	実績値	81.9%(中2国語) 69.2%(中2数学) 66.1%(中2英語)			
道であった外国人に話しかけられた時、何とか英語で話そうとする割合	目標値	70%	71%	75%	
	実績値	74%			
朝食の喫食率	目標値	96%以上(小5) 91%以上(中2)	96%以上(小5) 91%以上(中2)	97%以上(小5) 92%以上(中2)	
	実績値	95.8%(小5) 91.6%(中2)			
食育指導に関する校内委員会を設置している学校数	目標値	130校	167校	168校	神奈川県食に関する指導の実施状況調査
	実績値	104校			
センター研修受講者の研修の満足度	目標値	98%	98%	98%	研修受講者のアンケートまとめ
	実績値	98.1%			
教職員採用試験の倍率(小学校)	目標値	3倍以上	3倍以上	3倍以上	教育委員会調べ
	実績値	3.8倍			

重点施策 4 「まち」の強みを活かして川崎に育つ子どもに将来の夢を育む

成果指標	目標／実績	24年度	25年度	26年度	数値の出典
理科の授業の理解度 (わかる、どちらかといえばわかる)	目標値	92%以上 (小5) 67%(中2)	92%以上 (小5) 68%(中2)	94%(小5) 69%(中2)	学習状況調査
	実績値	92.6% (小5) 66.4% (中2)			
新体力テストの全国平均を 100とした時の本市の数値 体力合計点(小学校5年生男子)	目標値	95.8	96.0	97.5以上	児童生徒新体力 テスト 全国体力・運動 能力、運動 習慣等調査報 告書
	実績値	95.4			
新体力テストの全国平均を 100とした時の本市の数値 体力合計点(小学校5年生女子)	目標値	92.4	92.6	95.8以上	児童生徒新体力 テスト 全国体力・運動 能力、運動 習慣等調査報 告書
	実績値	93.9			
勉強が大切だと思う児童生徒 の割合(大切だ・どちらかとい えば大切だ)	目標値	97%以上 (小5) 94%以上 (中2)	97%以上 (小5) 94%以上 (中2)	98%(小5) 96%(中2)	学習状況調査
	実績値	97.4% (小5) 95.5% (中2)			

重点施策 5 安全・安心で快適な教育環境を創る

成果指標	目標／実績	24年度	25年度	26年度	数値の出典	
小・中学校の耐震化率(改築・ 大規模改修によるものは、完成 年度ベース(各年度4月1日基 準))	目標値	100%	100%	100%	教育委員会調 べ	
	実績値	100%				
小・中学校の普通教室の冷房化 率(改築・大規模改修によるも のは、着工年度ベース)	目標値	100%	100%	100%		
	実績値	100%				
学校トイレ整備事業のトイレ 快適化整備済校数	目標値	65校	72校	79校		
	実績値	65校				
小・中学校のエレベーター設置 校数(改築・大規模改修による ものは、仮設校舎での設置を含 む)	目標値	75校	77校	90校		
	実績値	79校				
小・中学校の窓アルミサッシ化 率	目標値	96.3%	98.2%	100%		
	実績値	98.8%				
情報の集め方や調べ方がわか るようになったと思う割合(そ う思う、どちらかといえばそ う思う)(小5)	目標値	77%	78%	79%		学習状況調査
	実績値	75.6%				
AEDの使用に関する研修率	目標値	66%	100%	100%	AEDトレー ナー貸出申請 書まとめ	
	実績値	90.3%				

重点施策 6 共に学び、楽しみ、活動する生涯学習社会を創る

成果指標	目標／実績	24年度	25年度	26年度	数値の出典
市民館における生涯学習活動 (社会教育振興事業参加者数)	目標値	12.7万人	12.9万人	12.9万人	教文・市民館・分館活動報告書
	実績値	10.1万人			
市民館の市民自主学級・自主企画事業の参加者数	目標値	27,600人	27,800人	27,800人	
	実績値	20,689人			
家庭・地域教育学級、PTA家庭教育学級の受講者数	目標値	16,200人	16,400人	18,000人	
	実績値	17,585人			
子どもの1ヶ月の読書量	目標値	5.1冊 (小5) 2.3冊 (中2)	5.1冊 (小5) 2.3冊 (中2)	5.8冊 (小5) 2.7冊 (中2)	学習状況調査
	実績値	5.4冊 (小5) 2.5冊 (中2)			
市立図書館における図書貸出冊数	目標値	650万冊	700万冊	700万冊	川崎の図書館
	実績値	626万冊			
シニア関係事業の参加者数	目標値	1,420人	1,440人	2,000人	教文・市民館・分館活動報告書
	実績値	1,901人			
シニア活動支援事業(生涯学習財団)の講座実施数	目標値	21講座	23講座	23講座	教育委員会調べ
	実績値	19講座			